

教科:算数 単元名:新しい計算を考えよう

学年:2年

タイトル

めざせ! かけ算マスター

10のキーワード
・志をともにする
・ごっこあそび

問いストーリー(単元の概要・児童への願い)

<教師のねらい>学習指導要領には、「A 数と計算(3)ア(イ)乗法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすること。イ(ア)数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりすること。(イ)数量の関係に着目し、計算を日常生活に生かすこと。」とある。児童が被乗数と乗数の順序に気をつけながら乗数の意味理解を深め、具体的な場面に関連付けて式を読み取る力や言葉や式で説明する力を養うとともに、今後の生活や学習に活用しようとする態度を身に付けさせたい。

<主体的に取り組む児童の姿>

児童は、これまでキーワードの「ごっこあそび」をイメージして、自作の問題を解き合う活動をアトラクションに例え、「たし算ランド」や「ひき算ランド」を目標に学習を進めてきた。今回も「かけ算ランド」をして、かけ算マスターを目指すという願いやそのためにはどんな学習が必要か、問いをもつと考えられる。児童にとって身近な学校の中からかけ算の場面を見つけて文章問題を作り、式を読み取る活動に主体的に取り組んでいく。

単元計画	
授業概要	
1~5	学習の見通しをもつ。 かけ算マスターをめざして「かけ算ランド」をひらこう。 かけ算の意味を知る。かけ算の場面絵・動画 図、おはじきなどの半具体物で表すことで「1つ分の数」と「いくつ分」とらえていく。 「ある量の何倍にあたる量」を求めるときにも、かけ算を用いることを学ぶ。
6~20	九九を学ぶ。(5・2・3・4・6・7のだん) アレイ図表や九九表、かけ算計算尺を使った活動を通して、きまりに気づくようにする。 自分のつくった九九とその答えの量を実感しながら学ぶ。 自由進度学習で九九をつくる。(8・9・1のだん)
21~28	いろいろな問題にチャレンジし、九九の理解を深める。
29・30	自分の問題を作る。 身の回りから九九の場面を見つけて、写真を撮る。
31 (本時)	自分の写真に印をつけ、かけ算の場面になっているか、確認する。式・文章問題を考える。自分の写真と文章問題を
32	友達に示して、式を問う。
33	自分の問題の考え方を説明できるようにする。
34~35	友達と問題を解き合い、かけ算の意味理解を深める。 「かけ算ランド」前・後半に分かれる。ワークショップ形式 学習の振り返りをする。
36~39	学習内容定着の確認・単元の振り返りする。

めざせ! かけ算マスター

